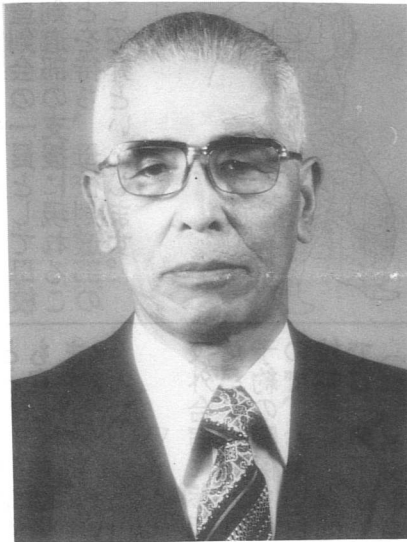


# 豊剣会だより

(表題字・中9 榎原 武雄氏)



△云長氏挨拶  
中務 秀夫(中7回)

豊剣会だよりの発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

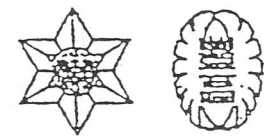
豊中中学校、豊中高等学校の剣道部に所属した我々は、良き指導者の先生方、良き先輩方、良き友に恵まれ一時期には「剣道日本一の中学校」という栄誉に輝き、豊中強しの数々の実績を残して参りました。

これもひとえに、諸先生方、諸先輩方のご薫陶のお陰と今更ながら感謝の気持ち一杯であります。しかし幾ら良き師、良き友を得ても、これを継承してくれる後輩がなければ今日の伝統ある「豊剣会」は存続しなかつたのであり、この点我が「豊剣会」の輝かしい現状は嬉しく且つ誇りに思っております。

剣道の極意は「和」であります。相手と相和してこそ試合に勝つことも出来又人生最終の勝利を得ることも出来るのであります。この点剣道部先輩は、よくこの精神を理解され、それぞれ各分野において無くてはならない人材としてめざましい活躍をされておりますことはご同慶の至りに存じます。

会員数五百名を超える一大剣道部同窓会は、日本全国でもそう数のない立派なものといふことができます。

母校七十周年を機として「豊剣会便り」が発刊されることは誠に嬉しく且つ意義のあることと存じますと共にこれを基として、今後益々母校剣道部が発展し、ひいては先輩諸兄弟の縦横の連絡が好転して将来とも末永く母校剣道部を支援出来る体制が確立することを念願してご挨拶と致します。



- 「現役員」
- 会長 (中7) 中務 秀夫
- 副会長 (中9) 榎原 武雄  
(中14) 西村 淳一  
(中22) 佐藤 功  
(高7) 今西 春禎  
(高29) 酒井千鶴子
- 会計 (中19) 谷口 真澄
- 書記 (中10) 灘上順之助  
(高16) 大芝 信雄
- 会計監査 (中14) 山本 猛 以上

## 『豊剣会会則』

- 第一条(名称)  
本会は豊剣会と称する。
- 第二条(事務所)  
本会の事務所は豊中市中校塚三丁目十番八号中務秀夫内に置く。
- 第三条(目的)  
本会は会員相互の親睦をはかり、豊高剣道部の発展を助けると共に、広く剣道の振興に寄与するを目的とする。
- 第四条(組織)  
本会は大坂府立豊中中学校卒業生及、同高等学校卒業生を以て組織する。但し、特別会員を認める。
- 第五条(事業)  
本会の目的を達成するため、下記の事業を行う。
- 一、会員相互の親睦の為に、原則として、年一回総会を行う。
- 二、後輩の指導育成。
- 三、その他の適当な事業。
- 第六条(役員)  
会長一名、副会長若干名、会計一名、監査一名、書記若干名。
- 一、会長は本会務一切を統括し、本会を代表する。
- 二、副会長は会長を助け、会長に事故あるときは代行する。
- 三、会計は金銭出納に関する事務を担当する。
- 四、監査は会計を監査する。
- 五、書記は記録、連絡に関する事務を担当する。
- 六、役員は任期二年とする。(但し重任を妨げず。)
- 七、顧問を置くことが出来る。
- 第七条(経費)  
一、本会の経費は会費、補助金、寄附金及びその他をもって之に当てる。
- 二、会費は年二千円とする。別に臨時会費を徴収することが出来る。
- 三、会計年度は毎年六月一日から翌年五月三十一日までとする。
- 第八条  
議事の決定及び会則の変更は出席者の過半数で行う。
- 第九条  
本会則は、昭和四十年六月一日から発効する。

以上

- 「賛助員」△云長氏
- 協力者(卒業期順)
- △中22 中島資郎、宮崎喜郎(上島)、佐藤
- △中23 芳賀 洋
- △高7 今西春禎
- △高9 松田邦彦(平尾)
- △高10 近久智彦、吉村克彦、牧野芳治
- △高12 山本雅英
- △高13 西尾正寿、大芝利
- △高17 筑田芳夫、西田真哉
- △高18 松村栄太郎、大崎敏雄
- △高19 稲葉純一
- △高20 高田裕文
- △高21 森 博志
- △高22 塩田克実
- △高24 福西理祐
- △高25 中村正男
- △高26 園田 学
- △高27 岸上利彦
- △高28 八島一郎
- △高29 吉矢和彦、加藤芳哉
- △高30 戸村滋見(鶴川)
- △高31 藤野隆世
- △高33 岡 元司
- △高34 世古信三
- △高35 都築哲也、塩見雅人
- △高37 曾和昭文、白岩愛子
- △高38 田島哲郎、古谷和久、西尾 浩
- △高39 筒井 薫、樋畑麻子
- △高41 高井尚子、野間宏平
- △中1 土倉 猛、豊田俊一、土肥通夫、樋口嘉章
- △中20 和田康夫、金須定
- △中19 谷口真澄、林 滋
- △中18 森川五郎
- △中17 中島 廉
- △中16 丸尾栄一、前川 昌三、秋山 勇(荒木)
- △中15 大久保勉男、上山本 猛
- △中14 西村淳一、小野博道、木村俊男
- △中13 大西 徹、中西 長蔵
- △中12 伊藤嘉吉、山口嘉夫、南浅之助
- △中11 原田 憲
- △中10 藤田巖男、灘上 利雄
- △中9 中務秀夫
- △中8 三浦博資
- △中7 鈴木 勇、牧野 龍雄、榎原武雄
- △中6 岡田齊孝、牧野 誠
- △中4 荒川 拓、岩崎 繁男
- △中3 島岡寛三
- △中2 荒川 拓、岩崎 繁男
- △中1 佐久(小東)博、秋沢 誠、中島 利雄

## 物故者慰霊祭挙行の件

1981年以降の物故者は調べによると次の通り。

- 恩師の部  
川上 徳蔵先生、井坂 賢一郎先生、古瀬 乗先生、青戸 常登先生、~4名
- 会員の部  
久山 常正氏(中1)、桜井 三郎氏(中3)、村上 好男氏(中3)、田村 正治氏(中5)、三木 正太郎氏(中6)、渡辺 宏氏(中9)、石田(江本)茂太氏(中10)、関谷 竜雄氏(中10)、小林 小太郎氏(中14)、松井 広義氏(中14)、伊東 祐二氏(中15)、河本 英次氏(中16)、松島 茂雄氏(中17)、安宅 宗吾氏(中18)、桂 義治氏(中18)、横田 武氏(中18)、開野 功氏(中19)、森 敬士氏(高9)、沢田 光司氏(高19)、中山 良平氏(高26)、~以上20名
- 平成3年5月13日が母校創立70周年に当たるので、来年の都合の良い日に神戸の護国神社へ合祀の慰霊祭を挙行してはどうか?

総会当日稽古前 会長挨拶



総会当日 親睦稽古風景



◎総会の席上、中22の宮崎氏が披露してくれた「剣道部の歌」の歌詞を紹介いたします。

- 豊島が丘の朝雲に 箕面の峯の松風に  
挽刀響きゆゆるなり  
伝統ここに育くみし歴史は薫る豊中の  
覇業めざす剣道部
  - 六甲山の夕雲に 鳴門の潮の高鳴りに  
稽古の叫び響して  
若き血潮は火と燃ゆる勤儉尚武意気高し  
ああ我が豊中剣道部
  - 大楠公と太閤の 残せし威業仰ぐとき  
千古不滅 英雄が  
互いに共に手を取りて覇業の道に欣然と  
ああ我が豊中剣道部
- (注) 昭和17年~18年時代の歌だそうです。

## 編集後記

過去数年にわたり一部先輩のご協力により伝統のある豊中中学・豊中高校剣道部卒業生の会である豊剣会を何とか維持継続してききましたが、高卒第42期を迎えた今日、会員数も六百名の多きに達し、疎遠の方も段々多くなって参りました。今後この光輝の伝統を持つ豊剣会を益々充実発展させるためには、会員の動向と母校剣道部の動向を皆様にお知らせすることが急務であるとの結論に達し、毎年一回「豊剣会だより」を発行することとなりまして、近況をどしどしお寄せ下さい。

中14回 西村淳一記

## 豊 剣 会

〒560  
大阪府豊中市上野西2丁目5番12号  
豊中高等学校内  
電話 大阪 06(854)1208(代表)  
06(849)4973(直通)  
FAX 06(849)4973

